新市の概要

1.位置と地勢

新市は、茨城県の中央部に位置し、首都圏から約100 Km、県都水戸市に隣接し、 総面積は、240.25 Km²(笠間市131.61 km²、友部町58.71 km²、岩間 町49.93 km²)となります。

区域は、東西約20km、南北約25kmで構成され、北部は栃木県、西部は岩瀬町 に、東部は水戸市、茨城町、南部は八郷町、美野里町に隣接しています。

地勢は、新市の北西部に八溝山系が穏やかに連なる丘陵地帯で、南西部には愛宕山が 位置し、北西部から東南部にかけ、概ね平坦な台地が広がり、本地域の中央を涸沼川が 北西部から東部にかけ貫流しています。

気候は、夏は気温も湿度も高く、冬は乾燥した晴天の日が多い、太平洋型の気候となっています。



2.人口と世帯

平成12年の国勢調査による3市町の総人口は82,358人(笠間市30,076人、友部町35,557人、岩間町16,725人)で、昭和55年の国勢調査と比較すると9,288人増加しています。

しかし、今後の人口推移は、全国的にも平成19年をピークに減少傾向に転じるものと推測されており、本地域においても伸び率は鈍くなるものと予測されます。

総世帯数は25,911世帯(笠間市9,257世帯、友部町11,534世帯、岩間町5,120世帯)で、昭和55年の国勢調査時と比較すると7,154世帯増加しています。

1世帯あたりの人口の推移は、昭和55年の国勢調査時と比較すると3.90人から 平成12年には3.18人に減少しています。今後もこの傾向は続き年々核家族化が進展していくものと予測されます。

階層別人口では、平成12年の年少人口が15.15%、生産年齢人口が66.49%、 老年人口が18.36%となっており、昭和55年の国勢調査時と比較すると年少人口 が減少し老年人口が増加しています。

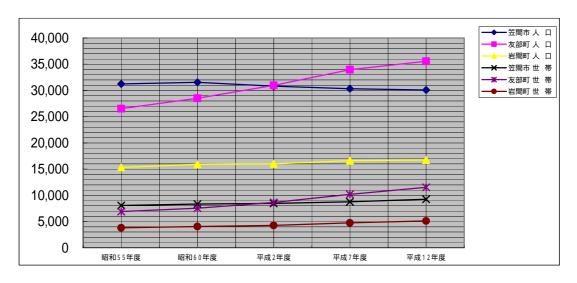
就業人口は、平成12年は第1次産業就業者が8.74%、第2次産業就業者が32.99%、第3次産業就業者が58.00%となっており、昭和55年の国勢調査時と比較すると、第1次産業就業者が減少し、第3次産業就業者が増加しています。

【表2】 人口と世帯の推移

(総人口:人 ,世帯数:世帯)

区分	昭和55年	昭和60年	平成 2年	平成 7年	平成12年
総人口	73,070	75,963	77,782	80,903	82,358
世帯数	18,757	19,945	21,358	23,696	25,911
1世帯当たりの人員	3.90	3 . 8 1	3 . 6 4	3 . 4 1	3.18

資料:国勢調査



【表3】年齢3区分別人口の推移

(上段:人 ,下段:%)

区分	昭和55年	昭和60年	平成 2年	平成 7年	平成12年
人口	73,070	75,963	77,782	80,903	82,358
構成比	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
年少人口 0~14歳	17,103	16,796	15,036	13,904	12,481
構成比	23.41	22.11	19.33	17.19	15.15
生産年齢人口 15~64歳	48,176	50,445	52,230	54,073	54,757
構成比	65.93	66.41	67.15	66.83	66.49
老年人口 6 5歳以上	7,740	8,707	10,475	12,926	15,117
構成比	10.59	11.46	13.47	15.98	18.36
年龄不詳	5 1	1 5	4 1	0	3
構成比	0.07	0.02	0.05	0.0	0.0

資料:国勢調査

【表4】産業別就業者人口の推移

(上段:人 , 下段:%)

区分	昭和55年	昭和60年	平成 2年	平成 7年	平成12年
就 業 者	36,176	37,931	39,322	41,467	42,177
(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
第1次産業	8,217	7,090	5,224	4,238	3,685
(%)	22.71	18.69	13.29	10.22	8.74
第2次産業	11,277	12,339	13,640	14,409	13,910
(%)	31.18	32.53	34.68	34.75	32.99
第3次産業	16,677	18,471	20,418	22,770	24,462
(%)	46.10	48.70	51.93	54.91	58.00
分類不能	5	3 1	4 0	5 0	1 2 0
(%)	0.01	0.08	0.10	0.12	0.28

資料:国勢調査